

第33回「女性会員の会」報告

The 33rd women's meeting of the Japan Institute of Light Metals

大島 智子

Tomoko OHSHIMA

初めてのハイブリッド開催となった第143回秋期大会中、11月12日(土)12:10~13:10に入退室自由の、第33回女性会員の会をハイブリッドで開催した。参加者は合計27名(女性20名、男性7名)、現地参加は17名で、学生・大学教員の現地参加が多かったように見受けられた。初参加は院生・社会人の方5名だった。午前中の講演では通信障害が多々発生していたようだったが、当会では通信障害が発生することなく、スムーズに進行することができた。

前回に引き続き、より多くの方に参加いただくために今回も講演大会に参加登録していない人も参加できるようにした。コロナ感染対策の指針に従い、現地参加者の食事時間と歓談時間を分ける目的で、現地参加者はオンライン参加者のスピーチを聞きながら食事をとり、その後接続用PCの前に移動して顔を映しながらスピーチを行い、最後に全体での歓談を行った。会場には東京工業大学の小林先生からシャインマスクットとミカンの差し入れをいただいた。ご厚意に感謝する。

学会託児室を設置し、利用者は1名だった。大会直前の託児室手配となってしまったが、設置にあたり大会実行委員会の皆様にご尽力いただいた。深く感謝する。

1. 自己紹介：氏名・所属，ひとこと

参加者には自己紹介とともに、今回のテーマ「今後の野望!!!」で目指していること、行きたいところなどの話をしていた。

1.1 今後の野望!!!

学生の方からは直近の課題と思われるドクターの取得、論文の執筆といった目標や、宇宙に行って研究テーマの実験をしたい、といった話があった。また、コロナ禍ではオンライン開催になっていた国際会議を現地に行きたくて参加したい、という方も数名おられた。ほかにもこれまでに行ったことがない国への旅行、社会人の方からは工場長になりたい、軽金属分野で業界を先行するような仕事がしたい、などさまざまな野望をお聞きすることができた。

1.2 全体での歓談

ひと通り自己紹介とスピーチが終わった後は、前回の会で学生の方から出た質問(結婚を機に姓が変わること)についてさらに多くの方から意見をうかがった。参加者の中に最近入籍した方が数名おられ、戸籍はパートナーの姓となり旧姓を通称として使用している、とのことだった。大学では通称

使用でも問題がなく、研究成果のカウントも考慮されているとのことだが、日常生活での不便さについて意見が複数あがった。例えば名義変更。パスポート申請では旧姓も併記できるがICチップにはひとつの姓のみ記録されるため、出入国時の説明が必要になること、パスポート・クレジットカード・通帳の名義が

同一名称でないと海外で使用できないため、入籍後に海外出張の予定があった方は海外出張が終わるまで名義変更を保留にした、といった経験を紹介していただいた。子育て中の方からは保育園や学校からの連絡が繋がりにくい経験を紹介していただいた。保育園には入籍後の姓・職場は旧姓を使用していると「つながらないトラブル」が発生し、保育園・職場に現姓・旧姓を伝えておくなどの対策をされている方もおられた。

結婚で姓の変更をしなかった男性からは、「姓を変えることに伴うさまざまな苦労」について新しい気づきがあった、との意見をいただいた。いろいろな立場の方が集まる場で討議することは、他の方の視点を共有する機会となり有意義であると改めて感じた。

2. おわりに

次の第144回春期大会は対面で開催を予定しており、女性会員の会も対面での開催を予定している。女性会員の会は女子学生、女性会員だけでなく、女性を応援する男性方も歓迎している。飛び入り参加大歓迎、多くの方の参加をお待ちしている。

軽金属学会「女性会員の会」

<https://www.jilm.or.jp/page-resource04>



参加者の写真撮影(2022.11.12)